

「いずみホール」下見時



6/2

五周年記念公演に向けて



アルト 栗辻 美津子

コーラスをやっている者にとつて、四声がピタッと合ったハーモニーの空気の中に身をゆだねる事は、至福の喜びです。けれど、それ迄の道のりは大変な味で、面白くない事も多いですね。『アルトさあ、解りました?』先生の声に思うように音が出ず、出だしても上手いかない時は、アルトの音はどこかと、さ迷っています。天使の声を支える慈悲深いマリあのひびきある声に、まだまだ遠いですが、まだ々々と思っていました。

声を合わせる 金曜日を楽しみ



アルト 河村 真保子

大正フロイデに四月に入団して、四ヶ月が経とうとしています。初めて出会ったのは昨年二月、西本先生の引率で第四回第九演奏会に参加させて頂いた、子供の付き添いでした。規模、会場、合唱団員の数、音質、すべての

緊張感が少しずつ湧いてきて、これで大丈夫かなと不安で一杯です。ロシア語、ドイツ語、そして手話に日本の歌、と覚えるだけでも脳トレになりそうです。近頃は、毎日聞いているモツレクのCDが、私の子守歌です。最後に、私達は第九・モツレクと大作を、諸先生方の熱心なご指導のもと歌える事は、コーラス人にとって大事な宝物だと思っております。まだ安物の石ですが、もっと磨いて、素晴らしい宝石にしていきたいと思えます。これからは晴れの舞台まで地道にコツコツ、頑張りますように!

大きさに圧倒されたのを覚えていています。そして今年二月、東成の第九に応援に来てくれた方にお誘いを頂き、高谷先生の指揮でもう一度歌いた一緒に第五回第九演奏会に参加。そして、あろうことか五周年記念コンサートを目指すことにしました。合唱は幼少の頃のわずかな経験のみで、三年前に地元東成で発足した第九に参加しただけの素人。モツレクを歌うことは勿論なく、サビ部分を聞いたことがあるだけ。今は団員の皆さんに追いつこうと、毎日の通勤でポイスレコーダーを聴きつつ、一生懸命口ずさんでいます。でも、同時に声を合わせる金曜日が楽しみな日々です。半年前には、歌うことがこんなにも自分の生活の中、大きなウエイトを占めるとは思いもしませんでした。そして、歌えば歌うほど奥深さにハマリ、そして何より合唱を通じての人との出会いに感動、感謝しています。記念公演に向けて、それぞれが最善を尽くした後に、次があるべきフロイデの姿を、神が導いてくれるのでは! その中に私も一緒に居て頂ければいいなあ、と心から願っています。

魅せられて



テノール 義一 南口

四月から変なおジイさんが参加していると嬉しいですが、決して不審な人物ではありません。大正第九は、二回目から連続四回出場しています。(南大阪第九より) 第三回目の演奏会の一節で、レクイエムを三曲歌いました。その折、西本先生から、いずれ全曲演奏する予定であると聞いていました。四月の茨木第九の折に、今回の記念演奏会のことを知り、急遽入団したという次第です。モーツアルト生誕二五〇

参加する 喜びと緊張感



ソプラノ 萩原 ゆき子

初回団員募集の時は出張が多かった為、入団を諦めました。二年目に、先に入団していた友人に誘われ、仕事も地元に着いたので、渡りに船とばかりに入団させて頂きました。早四年、友人

年となる二〇〇六年に、某合唱団で全曲を歌いましたが、練習不足で不完全燃焼に終わってしまいました。何とか再挑戦したいと思っていたのですが、大正フロイデのお陰で、念願が叶う事が出来ました。曲は美しい(又難しい)ですが、何よりも、大正フロイデの組織力には充分魅力を感じました。指導下さる諸先生方、スタッフが充実しており、なにより、団員の皆様の意欲が感じられます。堺から一時間要してでも、練習から出席するのが楽しいです。老骨に鞭を打ち、皆様のお荷物にならないように、東日本大震災犠牲者への鎮魂歌としての「モツレク」と「大正フロイデ」に魅せられて、喜寿の記念ステージを頑張りたいと思います。

達は辞めてしまいましたが一人しごとく残っています。そのお陰で、九月四日の記念公演に参加させて頂けるのですが、参加する喜びとやり通せるだろうかという緊張感で身の引き締まる思いです。その日は、きつと意義深い一日になることでしょう。中々体験出来ない世界観を味あわせて頂ける事を、西本先生、スタッフの皆様方団員の方々、ご紹介頂いた友人に心より感謝し、最良の日にしていけるよう頑張らせて参ります。